

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンター すてーじ		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 18 日		～ 令和 7 年 2 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 25 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 18 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・将来の自立や就労に向け、ねじ回しやビーズ通し等の手先を使った作業課題や、買い物体験、掃除や洗濯の係で、実生活に則した課題を中心に取り組んでいます。	・既製品から手作りまで、数多くの作業課題を取り揃え、お子さまの特性に合わせ、アプローチの仕方を替え、スローステップで取り組みながら、出来た時の「達成感」を覚え、出来る事を増やしていきます。	・作業課題がマンネリ化しないように、作業内容を考慮していきます。 ・小集団での作業課題も設定し、流れ作業をしながら、自分の作業に責任を持って取り組めるよう支援していきます。
2	・小学校高学年から、夏休み等の長期休みを利用して、系列の就労事業所や、近隣の事業所に作業体験に行っています。	・少人数で事業所に行き、支援員が側で見守りながら、じっくり丁寧にサポートしています。 ・回数を重ねていき、作業に慣れてくると、実際に事業所の利用者さんと一緒に作業していきます。	・近隣の就労事業所を開拓していき、いろいろな仕事を体験していただけるよう、体制を整えていきます。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・全職員が意見を出し合える場がなかったと思います。	・ミーティングや会議をしても、長期休みには開催できず、休み明けにも再開しなかった事が要因です。	・まずは、ミーティングや会議を継続していくこと。その上で、職員の意見を汲み取り、みんなで意見を出し合い、話し合う場を設けていきます。
2	・保護者様や職員に対して、詳細な説明が不足していたのではないかと思います。	・保護者様とは、面談や書面、LINEでのやり取りをさせていただいていますが、詳細な説明が不足していたことが、周知されていない要因です。 ・職員とは、今やっていることが、専門用語で言えばこういう事など、しっかり説明していなかったことが要因です。	・保護者様には、今までの面談や書面、LINEに加え、送迎時にもお声掛けさせていただき事を徹底していきます。 ・職員には、分からない事を、聞くことができる環境作りをし、質問にはしっかり応えていきます。
3	・支援にムラがあったように思います。	・担当制にして、評価や検討をしていたので、担当以外の職員が支援した時に、一貫した支援ができていなかったのが要因です。	・担当制は継続しつつ、評価や検討を全職員で話し合う場を設け、支援の方向性が決まった時には、全職員が一貫して同じ支援や対応が出来るように、情報共有していきます。